

7/16 22A

# 個人即日融資停止へ

## 国内銀 暴力団情報を照会

国内銀行がカードローンをはじめとする個人向けの新規貸し出しに関し、即日の融資を取りやめる見通しとなったことが15日、分かった。来年1月の運用変更を目標としている。借り手の情報を警察庁に照会する仕組みを導入し、暴力団員ら反社会的勢力との取引排除を徹底するため。すぐ借りられなくなることで、拡大の続いたカードローン利用が縮小に向かう可能性もある。

### カードローン縮小も

導入するのは銀行が新規融資の申し込みを受けた場合、預金保険機構を通じて警察庁のデータベースに接続し、反

社会的勢力に関係がないかを確認する仕組み。運用が始まれば融資審査に数日ほどかかるようになる。

みずほ銀行で2013年、系列信販会社を通じた暴力団関係者への融資が発覚したことを受け、全国銀行協会と警察庁が15年に情報照会の導入で合意し、準備を進めていた。企業向け融資は対象外となる。現在は各行が、それぞれ収集した反社会的勢力の情報と照らし合わせて取引の可否を判断している。カードローンは使い道を限定しない個人向け無担保融資で、最短で即日融資できる点を売りの一つとしてきた。大手行首脳は審査の厳格化に関し「利便性は低下するがやむを得ない」と話している。